

＜お詫びと訂正＞

以下の内容について訂正しお詫び申し上げます。

自研センターニュース 2015 年 2 月号、2015 年 3 月号

電子機器部品等の再設定作業時間（参考値）【トヨタ クラウンハイブリッド AWS210 系】

赤字：訂正箇所

2015 年 2 月号 P13、2015 年 3 月号 P20

No.	再設定作業名	再設定の必要な仕様	GTS の要否	参 考 値 （正味作業時間×1.3 ／60）	再設定作業の発生する指数項目番号および項目名										備 考		
					B010 B020	B125 ～B182	B210	B350 B360	B410 B420	M031 M041	M050 M060 M070	M200	M250 M255				
					フ ロ ン ト バ ン パ カ バ ー 脱 着 ・ 取 替	ミ リ メ ー タ ウ ェ ー ブ レ ー ダ セ ン サ A s s y 脱 着 ・ 取 替 （B125増表示）	リ フ ロ ン ト ア バ ド ア パ ネ ル A s s y 取 替	サ ラ ダ グ A s s y 脱 着 ・ 取 替	リ ヤ バ ン パ カ バ ー 脱 着 ・ 取 替	点 片 検 側 側 ・ フ ロ ン ト サ ス ベ ン シ ヨ ン 分 解 ・ 調 整	片 分 解 ・ 点 検 ・ 組 立 ・ 調 整	ン 片 分 解 ・ 点 検 ・ 組 立 ・ 調 整	ン 片 分 解 ・ 点 検 ・ 組 立 ・ 調 整	脱 着 ・ 取 替	パ ワ ー ス テ ア リ ン グ リ ン ク A s s y	分 解 ・ 点 検 ・ 組 立 ・ 調 整	リ ヤ バ ン パ カ バ ー 脱 着 ・ 取 替
1	GTS(Global Tech Stream)準備・収納 及びダイアグノシス確認・消去・更新	—	要	0.2	*1										*3		
2	①ステアリングセンサ0点取得 ②ステアリングセンサ初期化 ③サーボモータ初期化	全仕様	—	0.1	*2										*4		
3	インテリジェントクリアランスソナーシステム設定 （フロント）簡易検査	インテリジェントクリアランスソナー	—	0.1	●						●				●	*5	
	①追加作業（検知検査）		要	0.5						●	●			●	*6 *8		
	②追加作業（詳細検査）		要	1.2											*7 *8		
インテリジェントクリアランスソナーシステム設定 （リヤ）簡易検査	—		0.1											*5			
4	①追加作業 簡易検査後、検知検査の場合		要	0.5					●	●	●			●	*6 *8		
	②追加作業 簡易検査後、詳細検査の場合		要	1.2											*7 *8		
5	ミリメータウェーブレーダセンサAssy調整	ブリクラッシュセーフティシステム （ミリ波レーダ方式）	要	0.4		●										*8	
6	①リニアオフセット学習、ブレーキペダルストロークセンサ0点学 習値およびヨーレートセンサ&Gセンサ0点記憶消去 ②リニアオフセット学習、ブレーキペダルストロークセンサ0点学 習およびヨーレートセンサ&Gセンサ0点取得実施 ②テストモード点検（スピードセンサ系統） ③ブレーキラインエア抜き	全仕様	要	0.3						●	●		●		*8		
7	パワーウインドウシステム初期化	全仕様	—	0.1			●										
8	バックカメラ光軸調整	バックガイドモニタシステム	—	0.3				●		●	●		●				
9	ヘッドランプレベリングコンピュータ初期化	バイキセノン式（ディスチャージ）ヘッドランプ （オートレベリング機能・LEDクリアランスランプ付）	要	0.1						●	●		●		*8 *9		
10	回転角センサ出力補正およびトルクセンサ0点補正	全仕様	要	0.1						—●—			●		*8		

2015 年 2 月号 P14、2015 年 3 月号 P21

誤

＜再設定作業時間(参考値)の算出例＞

ブリクラッシュセーフティシステムを装備した車両で、B125~~4~~ミリメータウェーブレーダセンサ Assy
(脱着)の作業を行った場合に再設定作業が必要となり、以下のように算出します。

- 1 GTS準備・収納
- 2 ①ステアリングセンサ0点取得、
②ステアリングセンサ初期化、③サーボモータ初期化
- 5 ミリメータウェーブレーダセンサ Assy 調整

参考値

=0.2

=0.1

=0.4

再設定作業時間合計 **0.7** となります

正

＜再設定作業時間(参考値)の算出例＞

プリクラッシュセーフティシステムを装備した車両で、補機バッテリーターミナル脱着作業があり、B020 フロントバンパカバー取替、B125 ミリメータウェーブレーダセンサ Assy (脱着) の作業を行った場合に再設定作業が必要となり、以下のように算出します。

1	G T S 準備・収納	参考値 =0.2	}	再設定作業時間は合計 <u>1.3</u> となります
2	①ステアリングセンサ 0 点取得、 ②ステアリングセンサ初期化、③サーボモータ初期化	=0.1		
3	<u>インテリジェントクリアランスソナーシステム設定 (フロント) 簡易検査</u>	=0.1		
	<u>①追加作業 (簡易検査後、検知検査の場合)</u>	=0.5		
5	ミリメータウェーブレーダセンサ Assy 調整	=0.4		

2015 年 3 月号 P25

誤

- ~~④リニア弁オフセット学習、ブレーキペダルストロークセンサ 0 点学習値およびヨーレートセンサ & G センサ 0 点記憶消去~~
- ~~・シフトレバーが P ポジションにあることを確認し、G T S を ON にする~~
- ~~・G T S の画面操作に従い “シャシ” → “A B S ・ V S C ・ T R C” → “作業サポート” → “バックアップメモリ消去” を選択、実行する~~
- ~~・I G OFF にする~~

正

①ヨーレートセンサ & G センサ 0 点取得実施

- ・シフトレバーが P ポジションにあることを確認し、G T S を ON にする
- ・G T S の画面表示に従い “シャシ” → “A B S ・ V S C ・ T R C” → “作業サポート” → “ヨーレート・G センサ 0 点記憶消去” を選択、実行する
- ・G T S の画面表示に従い “シャシ” → “A B S ・ V S C ・ T R C” → “作業サポート” → “チェックモード移行” を選択、実行する
- ・チェックモード移行を実行してから約 4 秒間車両静止状態を保ち、A B S ウォーニングランプおよびスリップインジケータランプがテストモード表示 (0. 1 2 5 秒点灯、0. 1 2 5 秒消灯の点滅) になることを確認する
- ・I G OFF にする
- ・I G ON にして、ランプ表示がテストモード表示 (0. 1 2 5 秒点灯、0. 1 2 5 秒消灯の点滅) をしていないことを確認する

誤

~~②リニア弁オフセット学習、ブレーキペダルストロークセンサ0点学習およびヨーレートセンサ&Gセンサ0点取得実施~~

- ~~・シフトレバーがPポジションにあることを確認し、GTSをONにする~~
- ~~・GTSの画面操作に従い“シャシ”→“ABS・VSC・TRC”→“作業サポート”→“電子制御ブレーキサポート”→“リニア弁オフセット学習”を選択する~~
- ~~・画面に従いリニア弁オフセット学習を実行する。実行中は、テストモードに移行する~~
- ~~・リニア弁オフセット学習を実行してから約2分間ブレーキペダルを操作せずに車両静止状態を保ち、ブレーキウォーニングランプ（黄）の点滅が1秒周期～0.25秒周期の早い点滅に変化することを確認する~~
- ~~・テストモードコードC1346（ストロークセンサ0点学習異常）が出力されていないことを確認する~~

正

②テストモード点検（スピードセンサ系統）

- ・テストモード起動

パーキングブレーキをON、シフトレバーがPポジションにあることを確認する

GTSを操作してテストモードに移行する

ステアリングをニュートラルにし、READY ONにする

テストモード起動時、ABSウォーニングランプ、ブレーキウォーニングランプ(黄)およびスリップインジケータランプがテストモード点滅(0.125秒点灯、0.125秒消灯)になっていることを確認する

- ・Gセンサチェック、マスタシリンダ圧センサチェック

平坦な場所で、車両を1秒以上停止させる

車両停車状態でブレーキペダルを1秒以上開放した後、素早く強い踏力でペダルを踏んだとき、ABSウォーニングランプが点灯することを確認する

- ・スピードセンサチェック

ハンドル直進状態でホイールスピンせずに発進し、任意に時速45km/h以上まで速度を上げる

車速3km/h以上の速度で、3秒以上後退走行する(スピードセンサの後退信号チェックのため)

ABSウォーニングランプが消灯することを確認する